## 【入居時リスク説明書】

	ご入居 <u>3</u>	者様:		<u> </u>	年齢	歳	<u>性別</u>	<u>男・</u>	<u>女</u>
					説明者				
714	体記ではご	7 足安地	≛むはご高 <i>t</i> εスで	<b>听生活を送ら</b> れ	o まま トネノー	<b>空</b> 会か理∜	<b>会/仁(.) (一夕</b> )	マムナ	
-				カエルで込られ b病気に伴う様	- , - ,				hŝ
	ことを十分に			~714 X(1~ IT )173	(人) (学)正1人り)	ボ囚により、	、「もしひノバ	그)쯧 (エハ	۱.
1 7	,		1.00%						
《高齢	者の特徴に関	関して》	(ご確認いたた	どきましたら口	にチェックをお	お願いします	۲。)		
	特別養護	老人ホー	-ムは原則的(	こ拘束を行われ	ないことから、				
	転倒•転落	による事	事故の可能性:	があります。					
□ 歩行時の転倒、ベットや車椅子からの転落等による骨折・外傷・頭蓋内損傷の恐									
	れがありま	きす。							
	高齢者の	骨はもろ	く、通常の対応	<b>芯でも容易に</b> 愉	骨折する恐れ	があります	0		
	高齢者の皮膚は薄く、少しの摩擦で表皮剥離ができやすい状態にあります。								
	高齢者の	血管はも	ろく、軽度の	打撲であっても	。、皮下出血な	が出来やす	い状態に	あり	
	ます。								
	加齢や認	知症の症	を状により、水	分や食物を飲	み込む力が何	氐下します。	誤嚥∙誤	飲▪	
	窒息の危	険性が高	い状態にあり	ます。					
	年齢に関	係なく、バ	<b>ン臓や脳の疾</b>	患により、稀に	急死される場	易合もありま	きす。		
	□ 本人の全身状態が急に悪化した場合、当施設スタッフの判断で緊急に病院へ搬送を行								
	うことがあ	ります。							
	夜間、施調	没で死亡	された場合、	死亡診断書の	発行は翌朝り	以降となりま	ぎす。		
		137 -	± 11 10	<b></b>					
	<del>-</del> - 1 += - 11			服用されてい		_			
ご自宅でも起こりうることですので、十分ご留意いただきますようお願い申し上げます。 又、入居者の健康管理上、インフルエンザやノロウィルスなどの感染症の施設内感染防止の									
						&染症の施	設内感染	防止の	,
_		-	_	いただく場合が					
なお	る、説明でわ	からない	ことがあれば	、遠慮なくお尋	ねください。				
Ŧ,,		7.1	_ 4+ DJ <del>**</del> =# -	نسانا		O 10 11 +7		<b>*</b> • #	1 <b>4</b> = 0
				を人ホーム ひ		の担当者。	にり、人居	者の貢	肔設
利用は	持のリスクに	こついて記	兄明を受け、十	・分に理解しま	した。				
平成	年	Р	В						
一八	+	月							
			ご家族	左様		(FI)	(続柄		
			<u> </u>	N 14N		(L1)	7-120-11,1		